TADANO

カーゴクレーンはタダノ

操作はゆっくりと、慎重に行って、安全運転をしてください。

オペレーティング プロセスガイド

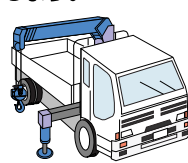
安全運転のために

■ 移動式クレーンの運転には資格が必要です。

つり上げ荷重	運転	玉掛け
0.5トン以上 1トン未満	特別教育	特別教育
1トン以上 5トン未満	技能講習	技能講習
5トン以上	運転免許	技能講習

■ 取扱説明書を読んで操作方法を理解しましょう。

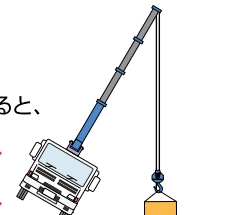
■ 誤った機械の操作や点検・整備は、機械の損傷や人身事故の原因になります。

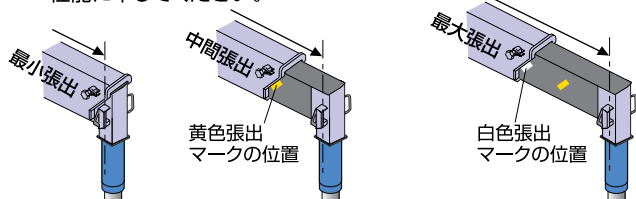
■ 作業前点検を十分に行いましょう。

■ 日常の点検・整備をおろそかにすると、機械の寿命を縮めたり、思わぬ事故を起こしたりします。

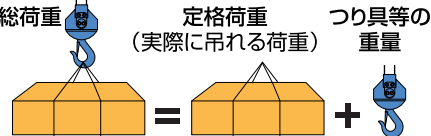
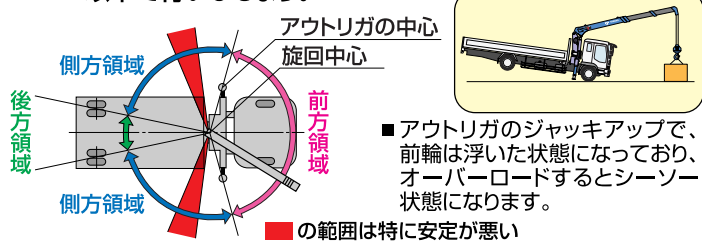
■ 作業中、通行人や走行車両に危険が、生じないように対処しましょう。

■ 作業現場内に関係者以外の人や車両などが入ると、接触事故や人身事故の原因となります。

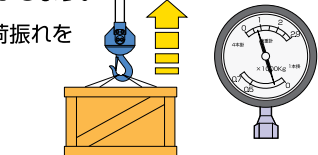
■ アウトリガを設置しない状態での、クレーン操作はしないでください。

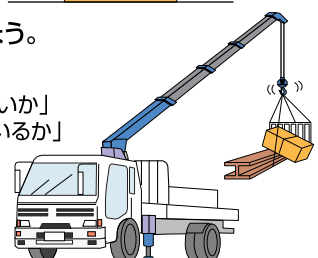
■ アウトリガを設置しないでクレーン操作すると、転倒事故などの危険性があります。

■ アウトリガ張出幅によって、つり上げ性能が変わります。

■「中間張出」「最小張出」では空車時定格総荷重表の「最小張出」の性能に準じてください。

■ クレーン作業は空車時定格総荷重の範囲内でのつり上げを守りましょう。

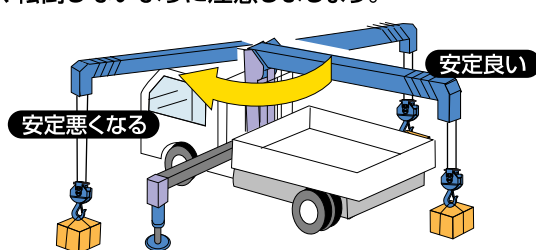
■ 範囲を超える荷をつると機械の損傷や転倒事故が起きます。

■ アウトリガより前方で作業するときは、空車時定格総荷重の1/4以下で行いましょう。

■ アウトリガのジャッキアップで、前輪は浮いた状態になっており、オーバーロードするとシーソー状態になります。

■ 荷の地切りはウインチ操作で行い、地切り時に一旦止めて、荷重計で荷の重さを調べ、オーバーロードになっていないことを確認してから再度つり上げましょう。

■ 起伏、伸縮操作による地切りは、荷振れを起こして危険です。

■ 荷の玉掛けは確実に行いましょう。

■「玉掛け用具は適切か」
■「荷が不安定な状態になっていないか」
■「荷の重心の上をフックがつっているか」

■ アウトリガ張出は左右同じ幅に張り出してください。

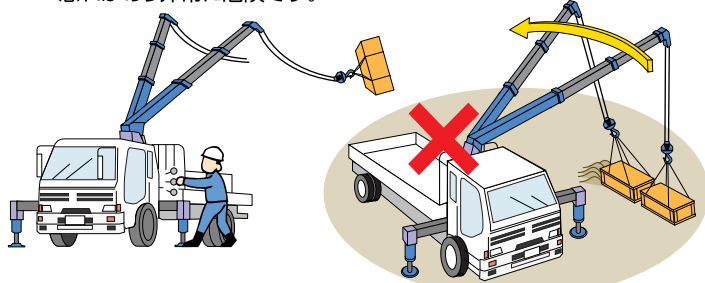
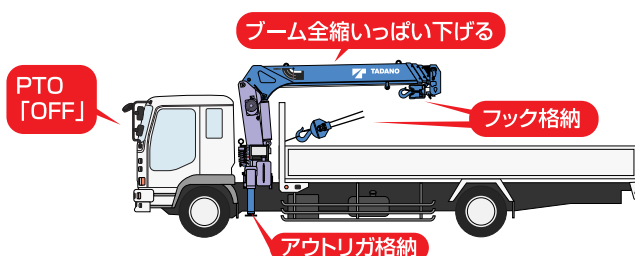
■ やむを得ず、左右の幅が異なる場合は、狭い張出幅の性能で作業をしてください。広い性能では、旋回した時に転倒の危険を伴います。

■ 旋回はゆっくりと行い、安定の悪い前方方向への旋回は特に、転倒しないように注意しましょう。

■ 安定は後方から前方になるほど、悪くなります。

■ 荷振れをしないように、ゆっくりと操作をしましょう。

■ 起伏操作、旋回操作は荷振れしやすいので、特にゆっくりと操作してください。

■ 荷の横引き・斜め吊り・引き込みは、しないでください。

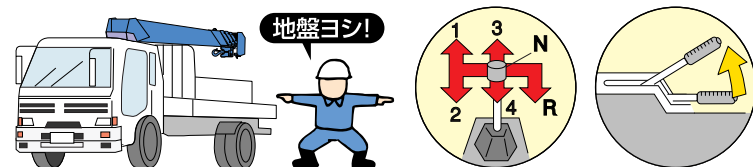
■ ブームや旋回機構などを損傷するだけでなく、車両が転倒する恐れがあり非常に危険です。

■ クレーン作業が終了したら、クレーンは格納状態にしましょう。

■ クレーン作業状態のままの放置は、エンジン始動時等に不意に動く事があり、危険です。

カーゴクレーンはタダノ

操作はゆっくりと、慎重に行って、安全運転をしてください。

オペレーティング プロセスガイド

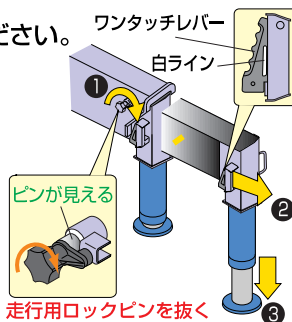
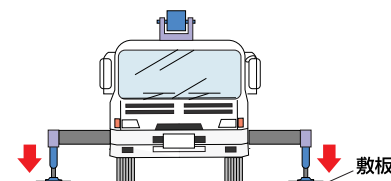
クレーン操作準備

1 車両は、地面が堅くて平坦な場所を選んで停車してください。

■シフトレバーを中立にし、駐車ブレーキを確実にかけてください。

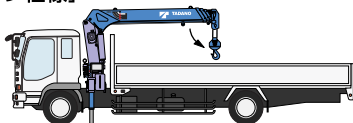
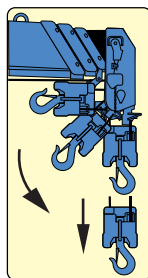
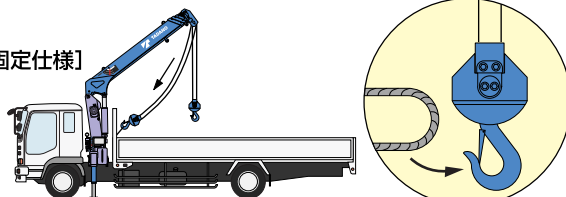
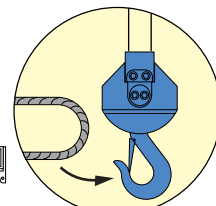
2 クラッチペダルを踏込み、PTOレバーをいっぱいに引いてください。

■オートマチック車および車両メーカ純正PTOの場合は、車両メーカ発行の取扱説明書に従ってください。
■クラッチペダルをゆっくりと戻すとエンジン音が変わり、クレーン用ポンプが回転します。

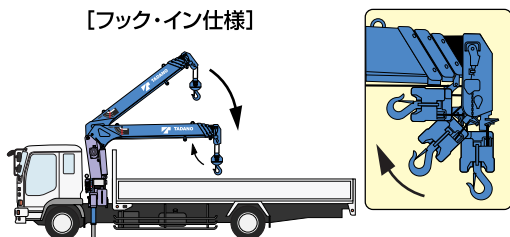
3 アウトリガは、常に最大に張出してください。

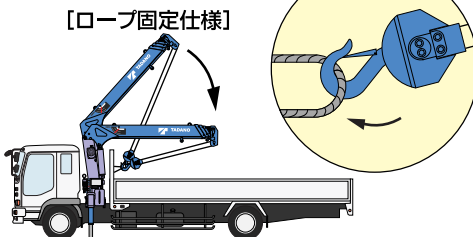
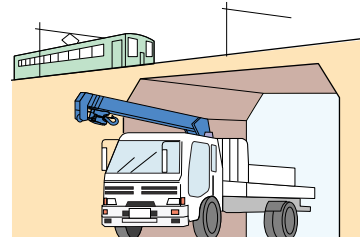
やむを得ず最小張出または中間張出で使用するときは、必ず最小張出の性能で使用してください。
■アウトリガがピン固定されていない状態で作業を行うと、作業中にアウトリガインナーケースが縮小する恐れがあります。
■アウトリガ張出後は、アウトリガがピン固定されていることを確認してください。
■白いラインが見えていれば固定されています。

4 ジャッキは水平に設置してください。

■前輪は地面に軽く設置した状態。
■車両は左右の傾きがないこと。
■ジャッキの下部には地面の状態に合った、敷板を利用ください。

5 フックを取出してください。

[フック・イン仕様]

■ウインチ巻下げ操作で、警報ブザーが鳴りやむまでフックを下げます。

[ロープ固定仕様]

■ウインチの巻下げと、ブーム上げ操作を行って、ロープをゆるめてから、フックを固定ロープから外します。

走行姿勢へ

1 ブームをいっぱいまで下げ、フックを格納してください。

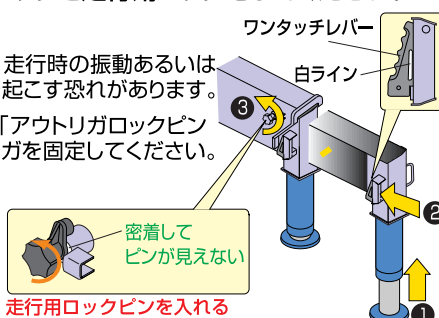
[フック・イン仕様]

■旋回装置に異常があるときに走行すると、急カーブなどでブームが振れ、他の走行車両にぶつけたりして危険です。走行しないでください。

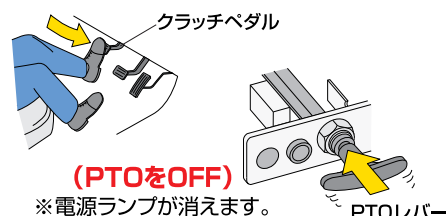
[ロープ固定仕様]

■フックを車体に固定しないで走行すると、急カーブなどでブームが振れ、他の走行車両にぶつけたりして危険です。フックは所定の位置に固定してください。

■ブームを下げ忘れたままで走行すると、電車架線との接触事故や橋桁との衝突事故を起こします。走行時にはブームをいっぱいまで下げてください。

2 アウトリガを格納し、必ずアウトリガロックと走行用ロックをしてください。

■アウトリガをピン固定しない状態で走行すると、走行時の振動あるいは急カーブなどでアウトリガが飛び出し「事故」を起こす恐れがあります。
■走行前には、必ず「走行用ロックピン」及び「アウトリガロックピン(ワンタッチレバー)」を確実に入れて、アウトリガを固定してください。

■走行用ロックピン
・走行中のアウトリガ飛び出しを防止します。

■アウトリガロックピン(ワンタッチレバー)
・クレーン作業時はインナーケース縮小を防止し、走行中はアウトリガ飛び出し防止を補助します。

3 クラッチペダルを踏んで、PTOレバーを押し込みます。

(PTOをOFF)
※電源ランプが消えます。

■「走行前の確認」を行ってから、確実に断操作をしてください。